

経済産業省

内定者BOOK2025



CONTENTS

第1章

何を聞かれる？1日のスケジュールは？

03 METI's 官庁訪問

- | | | | |
|----|----------|----|----------|
| 04 | 全体スケジュール | 07 | 官庁訪問の準備 |
| 05 | 官庁訪問用語集 | 15 | 官庁訪問を終えて |
| 06 | 1日の過ごし方 | | |

第2章

METIを選んだ決め手は？

17 内定者の併願状況

- | | | | |
|----|--------------|----|-------------|
| 18 | 他省庁との併願 | 27 | 民間企業・進学との併願 |
| 24 | 他省庁→METIの決め手 | | |

第3章

地方大生でも大丈夫？

31 地方勢のはなし

- | | | | |
|----|----------|----|----------|
| 32 | 地方出身者の割合 | 35 | 地方勢の思い出話 |
| 33 | 地方出身者の出費 | | |

特集

36 総合職採用担当者 スペシャルトーク

第4章

ガクチカは？公務員予備校ってみんな通うの？

41 内定者データ

- | | | | |
|----|----------|----|----------|
| 42 | データあれこれ | 48 | おまけ：集合写真 |
| 47 | 個人的な心配ごと | | |

第1章

METI's 官庁訪問

- 04 全体スケジュール
- 05 官庁訪問用語集
- 06 1日の過ごし方
- 07 官庁訪問の準備
- 15 官庁訪問を終えて



METI's 官庁訪問

全体スケジュール

官庁訪問は、第1クールから第4クールの4つの期間に分かれています。採用プロセスが順調に進み、第4クールまで終了したのち、晴れて内々定が言い渡されます。（なお、表は2024年度のものであります。）



第1クールでは、3省庁に訪問可能。選考を通過したら、第2クールに進むことができます。

第2クールでは、3省庁に訪問可能。選考を通過したら、第3クールに進むことができます。

第3クールでは、2省庁に訪問可能。省庁によっては、第3クールの2日目を実施しないところもあります。

第4クールでは、1省庁に訪問可能。この日の夕方以降、内々定通知を受け取ることになります。



Congratulations!



官庁訪問の流れは、年度によって変更される場合があります。正確な情報は、METIや人事院のホームページをチェックしてくださいね！



METI's 官庁訪問

官庁訪問用語集

1

官庁訪問では、聞きなれない様々な言葉が使われます。詳しいスケジュールを見る前に、今一度、用語をおさらいしておきましょう！

メンター

官庁訪問中の**相談相手**（職員）。自分の志望動機の練り直しや、学びのブラッシュアップなどのサポートをしてくれます。二人三脚で官庁訪問を頑張ろう！

人事面接

一般的な面接です。志望動機や、入省後にやりたい事、最近気になっているニュースなど様々な質問に回答します。**普段通りの自分**を見せましょう！

2

3

原課訪問

職員の方と1対1で政策内容を学んだり、現状の課題について議論をしたりします。人事面接に向けて、METIの「**政策**」や「**人**」を知る良い機会になります！

ブース面談

メンターさんとの面談のこと。1日に複数回あり、**人事面接や原課訪問の振り返り**をします。その日の最後には、現時点の評価が伝えられます...！

特集

4



内定者は知る！！官庁訪問 Tips ①



メンターさんには、本当にお世話になりました。悩み事は、何でも相談に乗ってくれました！

METI's 官庁訪問

1 日の過ごし方

METI での官庁訪問の流れには、個人差があります。ここでは参考として、とある事務系と技術系の内定者が体験したスケジュールを紹介します！（どちらも、第1クール1日目のものです。）

Aさん（大卒・事務系）

8:30	集 合
8:50	原課1人目
9:40	
10:15	メンター面談
10:30	
11:30	人事面接
11:50	
昼食休憩	
14:30	原課2人目
15:30	
17:00	原課3人目
18:00	
19:30	終 了

Bさん（院卒・技術系）

8:30	集 合
10:00	原課1人目
11:00	
11:30	人事面接①
11:50	
12:00	メンター面談
12:15	
昼食休憩	
14:30	人事面接②
14:50	
16:00	原課2人目
17:00	
17:30	終 了

事務系と技術系で少し違いはありますが、大まかな流れは同じです。体調管理を怠らずに行って、万全の体制で官庁訪問に臨みましょう！



METI's 官庁訪問

官庁訪問の準備

官庁訪問に臨むにあたって、内定者はそれぞれ自分なりの準備を行っていました。幾つかの実践例を紹介するので、ぜひ参考にして下さい！

1. 調査票



~~Quasi~~ 2021
nur kein
pure!

添削してもらう

- ・他省庁志望の同期何人かと調査票を叩きあった。
- ・**模擬面接**をやりながら調査票を書き直した。
- ・就活経験のある**友達や先輩**に調査票を読んでもらった。
- ・大学生協の公務員講座を受けていて、受講生と互いの調査票を添削し合っていた。
- ・**調査票に対して質問をもらう**ことで、調査票のブラッシュアップはもちろんのこと、**面接対策**にもなった。
- ・家族・友人に見せて意見をもらった。
- ・METI を志望する知り合いを集めて、添削会を何回も開催した。
- ・調査票を添削してもらうときは、**とにかく恥をすてた**。
- ・公務員になるための支援団体に参加し、参加者同士で調査票を添削しあった。
- ・**OB・OG 訪問**等を通じて、現役・元経産官僚の方にアドバイスを頂いた。
- ・大学の講義の**先生**に、調査票の当該部分を見てもらった。



内定者は知る！！官庁訪問 Tips ②



調査票の添削は、内容についての自分の理解を深めることができ、総合的に官庁訪問に役立てることができました！

METI's 官庁訪問

内容を深める

- ・内定者 BOOK で先輩の志望理由を見て、「**大きいこと書いていいんだ**」と気づけた。
- ・少しでも多く調査票に書けることを経験しようと、普段のアルバイトやサークル活動にいつそう力を入れていた。
- ・ニュースのネタ探しのために、(経済紙などの) **新聞**を毎日読んでいた。
- ・1つの調査票を推敲するのではなく、何パターンもの調査票を書いた。
- ・面接の際にスムーズな回答が出来るように、**自分の言葉で書く**ことを心がけた。
- ・「**もし自分を経産省に入れたら、どのような役割で活躍できるか**」を具体的に想像してもらえるように書いた。
- ・心から**自分がどう思っているのか**を問い続け、良い部分については正直に書くこと。
- ・経産省のイベントに数多く参加し、**経産省を徹底的に理解**する努力を行った。
- ・公務員対策の塾の体験記を参考にした。
- ・先輩方の調査票を参考にした。

その他調査票

- ・民間の ES を何社か提出し、そのノウハウを活用した。
- ・**わかりやすい文章**の作成を心がけた。
- ・記述量が多いので早め(およそ1か月半以上前)に始めた。



COFFEE BREAK ～昨年の調査票～



昨年の調査票に、記載があった質問事項です。項目は年度によって変わりますので、あくまでも対策の参考程度にご覧下さい！

- ・これまでに力をいれたこと(以下の3点を意識して)
 - ①**本質的な課題に挑戦** ②**自由に個の力を発揮** ③**多様な力をかけあわせる**
- ・性格の自己分析(長所・短所)
- ・志望動機(**why, how, what**を意識して) ・印象に残った経産省のイベント
- ・経産省の政策分野に関する新聞・雑誌等の記事 / それに対する自分の考え等

METI's 官庁訪問

2. 人事面接

人事面接は、官庁訪問での重要度が非常に高いです。しっかりと対策を練って、挑むようにしましょう！

面接練習をする

- ・他省庁志望の同期と模擬面接を行い、互いに改善点や良い点を指摘して修正した。
- ・民間企業の面接で、**場の経験**を積んでおいた。
- ・民間企業の面接をこなすうちに、定番の質問に対する答えのパターンができた。
- ・大学生協の公務員講座の先生に、週に一度は面接練習をしてもらっていた。
- ・若手官僚の方に面接練習をしてもらった。質問の内容が友人とは異なるため、**さまざまな属性の方に面接練習をしてもらう**と良いと感じた。
- ・京僚会の対策グループで週2くらいでオンラインで模擬面接をしてFBしていた。
- ・身近な人に模擬面接をお願いして、その場で自分の考えをまとめる練習をした。
- ・**想定問答**をある程度考えておいた。
- ・ぐだぐだ自分の言いたいことを発散して、それを面接で話せるよう綺麗にまとめた。
- ・大人たちと日常的に飲む（！？）
- ・**実際に口に出してみる**ことが大切だった。言いたい内容を紙にまとめた後に、自宅の部屋などで独り言のように口で説明する練習をした。
- ・面接の部屋を想像して、自分の部屋で**イメージトレーニング**。
- ・回答内容を練るというよりは、落ち着いて対応するための**心の準備**に重点を置いた。

自分を論理的に説明する準備をする①

- ・志望動機を**論理的に、分かりやすく**整理した。
- ・**なぜ METI**なのか、どのような体験から志望するのかをひたすら詰めた。
- ・徹底的な自己分析をした。
- ・入省後に取り組みたい政策と、**自分の経験**を論理的に結びつけて説明できるようにしておいた。
- ・自分の一生を振り返り、自身の性格やコンプレックスを把握しておいた。
- ・**自分の目指す日本の在り方**を、解像度を上げて話せるようにしておいた。

（次頁へ続く）

METI's 官庁訪問

自分を論理的に説明する準備をする②

- ・言いたいことを起承転結で分け、それぞれ箇条書きにしておくことで、状況に合わせて柔軟に対応できるようにした。
- ・調査票に書く内容を熟考する過程を通じて、何を質問されても大丈夫という気持ちになれたのが良かった。
- ・自分の関心のある政策について、なぜ重要だと思うか、何が課題となっているか、どのような政策が必要だと思うか、自分の頭で考えた。
- ・どのような質問が来るのかを、職員や既合格者向けの官庁訪問を受けた学生に聞いて準備をしていた。
- ・アルバイト等で、普段から自分の考えを端的に伝えるように意識して話していた。
- ・調査票の対策と同様に、経産省のイベントに数多く参加し「経産省」を徹底的に理解する努力を行った。
- ・これまでの人生について振り返り、過去の経験とその場面場面での教訓を整理した。
- ・一つのテーマに対して深掘り質問を複数考え、自分の言葉で答える練習をした。

面接中に心がけたこと

- ・とにかく楽しんで面接をしようとした。
- ・自分に正直に。素直に。等身大で。
- ・自分自身がどういう人か、どのように日本社会に貢献できるかを相手にしっかり伝えることを意識した。
- ・自信を持って、友達になるつもりで望んだ。

その他人事面接

- ・様々な業界を見ている大学のOBに、アドバイスをいただいた。
- ・先輩に面接の経験談を聞いた。
- ・公務員対策の塾の体験記を参考にした。

また面接は終始和やかで、自分のパーソナリティを相手に伝えることに集中することができます。訊かれる質問も普通なので、変に身構える必要はありません。Take it easy!

1

2

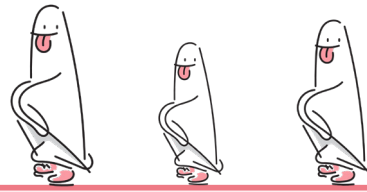
3

特集

4

METI's 官庁訪問

3. 原課訪問



事前に学習する

- ・ 関心のある分野についての経産省の資料に、目を通しておいた。
- ・ 自分が調査票で言及した関心分野は、最新の政策を見て疑問点を洗い出しておいた。
- ・ ニュースで取り上げられた経産省の政策について、ChatGPT に自分の考えを入力して足りない点や改善すべき点を聞いた。
- ・ 最近の白書（ものづくり・通商・中小企業・エネルギー）はパラパラ読んでおいた。
- ・ 友人と、「白書を読む会」を開催した。
- ・ 自分の関心が薄い分野でも、現状と課題を知るようにしていたこと。
- ・ 書籍（エネルギー政策、中小企業政策、介護政策、通商政策に関するもの等）を読んで知見を広めていた。
- ・ タイムリーな政治・経済の課題について調べ、自分としての意見を持っておいた。
- ・ 訪問先をある程度予想し、業務範囲を予習したこと。
- ・ 最も関心の強い政策分野については、講義の受講や論文を読んだりして知識を身につけ、幅広い考え方を仕入れ、自分の意見を形成した。
- ・ 自分の意見やその裏付けを、会話や調査票作成などを通して繰り返し言語化した。

時事を知る

- ・ 日経新聞を毎日読んでいた。
- ・ 経産省関連のニュースは、一通り追っていた。
- ・ 海外の経済紙を読み、英語の練習がてら国際的な経済情勢について知っておいた。
- ・ 新聞は購読せずに、大学図書館のデータベースで閲覧していた。

イベントに参加する

- ・ それぞれの経産省のイベントで学んだことはメモに残してあり、それを読み返した。
- ・ 事前に様々な経産省のイベントに参加し、政策への理解を深めたこと。
- ・ 説明会に頻繁に参加し、気になったことは積極的に質問するようにしていた。
- ・ 1week サマースクールで、「政策」とは何かを学んでおいた。

1

2

3

特集

4

METI's 官庁訪問

OB・OG 訪問

- ・経産省の OB 訪問を通じて、原課訪問の予行練習をした。
- ・民間就活での OB 訪問で、新たな学びに対するその場でのインプットの練習や、会話の中から本質的な内容を見極める練習を積んだ。
- ・官庁訪問前に職員の方に自分のアイデアをぶつけて、自分に欠落している点を指摘してもらった。

日常生活から

- ・普段から、真剣に大人の話を聞いていた。
- ・日常的にゼミで、「質問すること」に慣れておいた。
- ・大学で他人と議論をする授業を多く履修し、質問の仕方や話し方を磨いた。
- ・普段からメディアで情報を得て、自分ならどうするかを簡単に考えていた。
- ・学会やインターンで、民間企業の社員と議論をした経験が生きた。
- ・普段の生活から「なぜ？」を大切に自分なりに考えていた。

その他原課訪問

- ・各課室の所掌業務をざっくり把握しておいた。
- ・内定者 BOOK などでの情報収集をした。
- ・コンサルティング業界などのインターンで、初めてのテーマに対して自分なりの考えをアウトプットする練習ができたのが良かった。
- ・議論するとはどういうことかを徹底的に考えた。

1

2

3

特集

4



内定者は知る！！官庁訪問 Tips ③



原課訪問で会った職員さんは、本当に面白い方ばかりでした！政策の話以外に、プライベートな話も聞けて良かったです（笑）

METI's 官庁訪問

当日行ったこと

- ・官庁訪問中は覚えているうちに、聞いた話をドキュメントにまとめていた。
- ・等身大で会話し、自分の考えを素直に伝え、何より楽しむ。
- ・聞きたいことなど予め話しておく、聞きたい話を聞けて有意義な時間になった。
- ・他の職員さんの原課訪問で伺った話とのつながりを意識して質問することで、思考力や柔軟性をアピールした。
- ・職員さんの話を聞きながら、頭の中で自分の言葉に変換してまとめていった。
- ・第1クールでメンターに関心領域を伝え、第2クールで会う職員を調整してもらうことができた。
- ・時間は限られているので、質問が途切れないように気を付けた。



COFFEE BREAK ～贈る言葉～



採用プロセスを通じて、内定者が感銘を受けた言葉を紹介します。
きっと、あなたの心を揺さぶるものがあるかもしれませんね。

【自分の言葉を持ち、それを信じること。】

…自分が抱く理想像や熱意、意見。それを躊躇することなく、発散しよう。
恥ずかしいことなんてない。受け入れてくれる仲間が METI にはいます。

【共感と、違和感を、大事に。】

…官庁訪問は、自分を知り、METI を知り、自分と METI を繋いでいく時間。
話を聞いて抱いた共感と違和感は、きっとその作業をする上で大切な材料になるはずです。

【よい Question をせよ。】

…有意義な議論は、いつも "Good Question" から始まる。ファクトや数字、Before と After、なぜ国か、なぜ METI か、政策ツールはどうか。様々な視点から、あなただけの "Good Question" を投げかけよう。

1

2

3

特集

4

METI's 官庁訪問

4. 官庁訪問全般



たべもの

- ・お昼ご飯の後のブラックコーヒーで、午後も頑張れた。
- ・長丁場なので、**飲食物は多めに**買って持っていく。
- ・お気に入りの食べ物を用意しておいた。
- ・**朝ご飯**をしっかりと食べて行った。
- ・土日には、ご褒美でちょっと高めのご飯を食べた。
- ・体調管理を兼ねて、のど飴を舐めていた。

体調・メンタル

- ・待合室では、緊張をほぐすために、なるべく多くの人たちと話した。
- ・不安点は、全て**メンターに相談**した。
- ・とにかく楽しむ！と言い聞かせ、気楽に過ごした。
- ・あまり遅くまで次の日の対策をしないで、**早めに寝た**。
- ・土日は、官庁訪問で知り合った同期と飲んだ。
- ・官庁訪問中の土日は、府中競馬場に行って一喜一憂した。
- ・筋トレをした。
- ・支度中や移動中に好きな芸人のラジオを聞いて、笑うことで**リラックス**していた。
- ・先輩や予備校の先生と話をすることで、気持ちが落ち着いた。
- ・大学の同期と、意味のない zoom をして緊張を紛らわした。
- ・毎朝家族と電話をすることによって、**口のストレッチ**をしていた。
- ・フロアの移動中は、胸を張って堂々と歩き、強者感を出していた。
- ・CRAS や京僚会に参加して、**知り合いを増やしておいた**。

頭の整理

- ・土日に、それまでの**自分の思考のアップデートとインプット**をワードにまとめた。
- ・**原課訪問での学びを志望動機に反映**させて、人事面接で伝えられるようにした。
- ・過去に話を聞いたことがある職員の方のリストを作っておいた。
- ・ZOOM で友達と繋いで、混乱したままの**情報を一緒に整理**してもらった。

1

2

3

特集

4

METI's 官庁訪問

官庁訪問を終えて

タフでありながらも充実した官庁訪問を終えた内定者は、2 週間を振り返って、どのような感想を持ったのでしょうか。加筆・修正、一切ナシの生の内定者の声をお届けします！



楽しかった！！



め——————ちゃくちゃ楽しかったです。民間就活・大学院受験もしたけどあらゆる採用活動の中で一番楽しかった。同期とたくさん話して同期の雰囲気も志望動機の一つになるところが官庁訪問のいいところ。(By はるこ)

楽しくて仕方がなかったです。同期・職員共に多様な視点を社会に対して持っていて、それを聞き、議論をするのが楽しかったです。(By ぴかたろう)

始まる前は2週間という長い時間に怖じ気づいていたが、終わってみれば記憶に残る、他にはない貴重な経験になった。(By らりる)

待機部屋でも緊張感があり殺伐とした雰囲気であると事前に予想していたが、官庁訪問開始直後から、ある程度の緊張感はあるつつも、和気あいあいと志望者皆で助け合って官庁訪問を乗り切るぞ！という雰囲気であった。最終日には、これから一緒に働くのが楽しみであると思える仲間であると思えた。(By ニクマン)

原課訪問がとにかく楽しかった。恐れていたほど待ち時間が長くなかった。(By SS)

他の省庁と違って、待合室がにぎやかで楽しかったです。(By かっちゃん)

この他にも、数十人もの内定者が「楽しかった！」という感想を持っていました。雰囲気の良さが伺えますね！

1

2

3

特集

4

METI's 官庁訪問

学びがあった！

1 周りの内定者の方を見て、やはり社会の課題から身の回りの些細なことにまで
当事者意識と自分の考えをもつことが大事だと思いました。(By ワニノコ)

2 現役の官僚と、「原理原則」から「深い政策論」まで懇話できる機会は少ないのでは
ないでしょうか。すごくありがたいし勉強になりました。(By ジャスミン茶)

3 原課面接の印象が強烈に残りました。お話をお聞きする中で、この国の未来を
創っていく戦略のダイナミックさは日本政府の仕事ならではのあり、原課で目の前
にする方々がまさに「日本のキーマン」だと感じました。職員の方々が語って下さ
る、日本全体の成長戦略を練り、外国政府と国益をかけて交渉する、といった仕事は、
日の丸を背負う官僚ならではの仕事だと思い、経産省で働きたい思いを強くしま
した。(By ハピ)

特集 仮に結果が伴わなかったとしても、尊敬できる職員の方と出会えたり、優秀な学
生の方と色々なお話ができてすごく勉強になったし、価値のある経験だったと
思った。(By 烏龍茶)

4 官庁訪問は、決して受動的なものではなく、他者との「学び合い」
によって、お互いにとって有意義な時間を創り出すことができます！
しかしながら、その一方で…？

かなり疲れた！

本当に疲れました…中日の回復が命です。(By 総合人間になりたい)

想像より何倍も楽しいけど、すごく疲れた (By なった)

やはり官庁訪問は疲れますが、その分、結束が強まります！

第2章

内定者の併願状況

- 18 他省庁との併願
- 24 他省庁→METI の決め手
- 27 民間企業・進学との併願

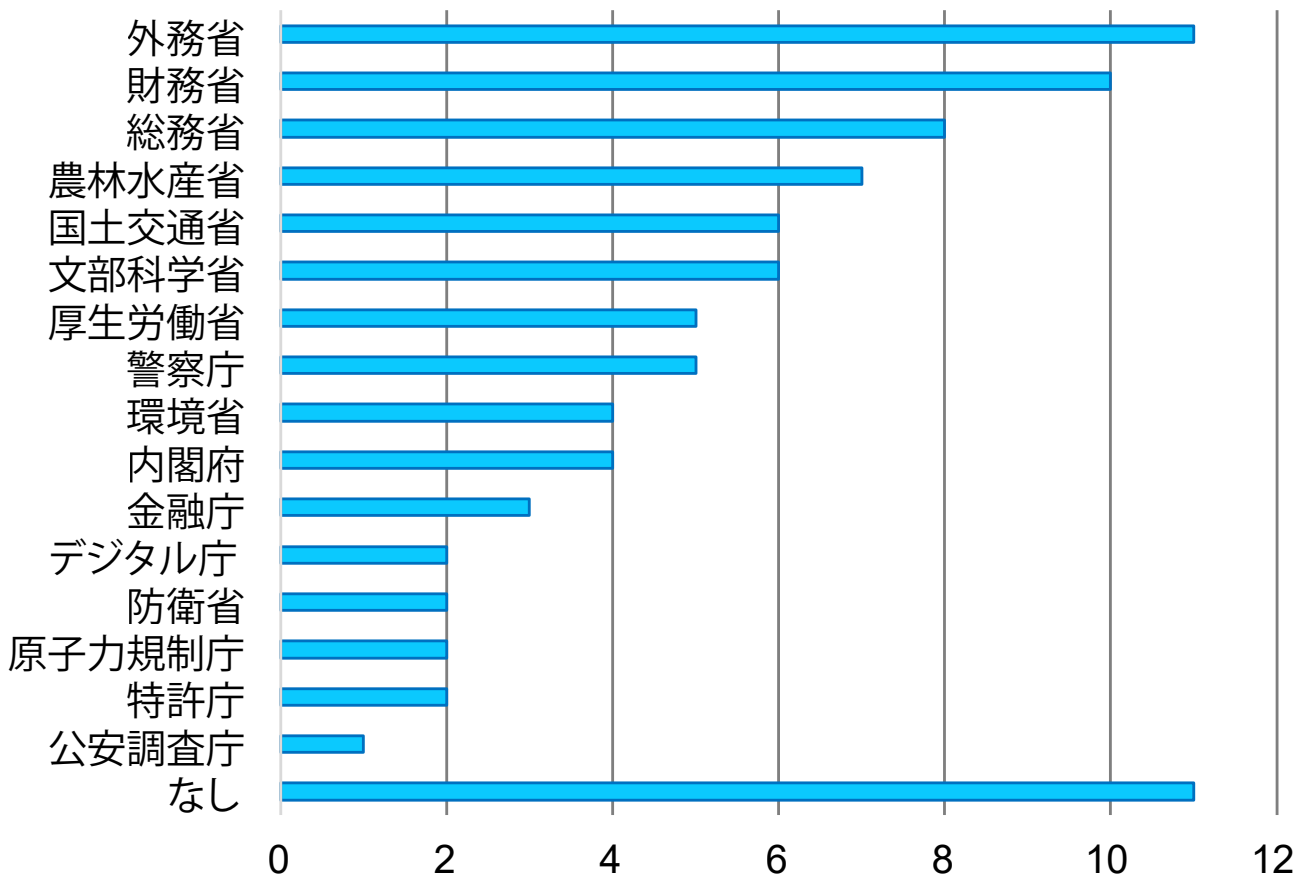


内定者の併願状況

他省庁との併願

官庁訪問では、多くの方が他省庁を併願しています。具体的にどのような省庁が志望されていたかを、見ていきましょう！

METI の他に見ていた省庁

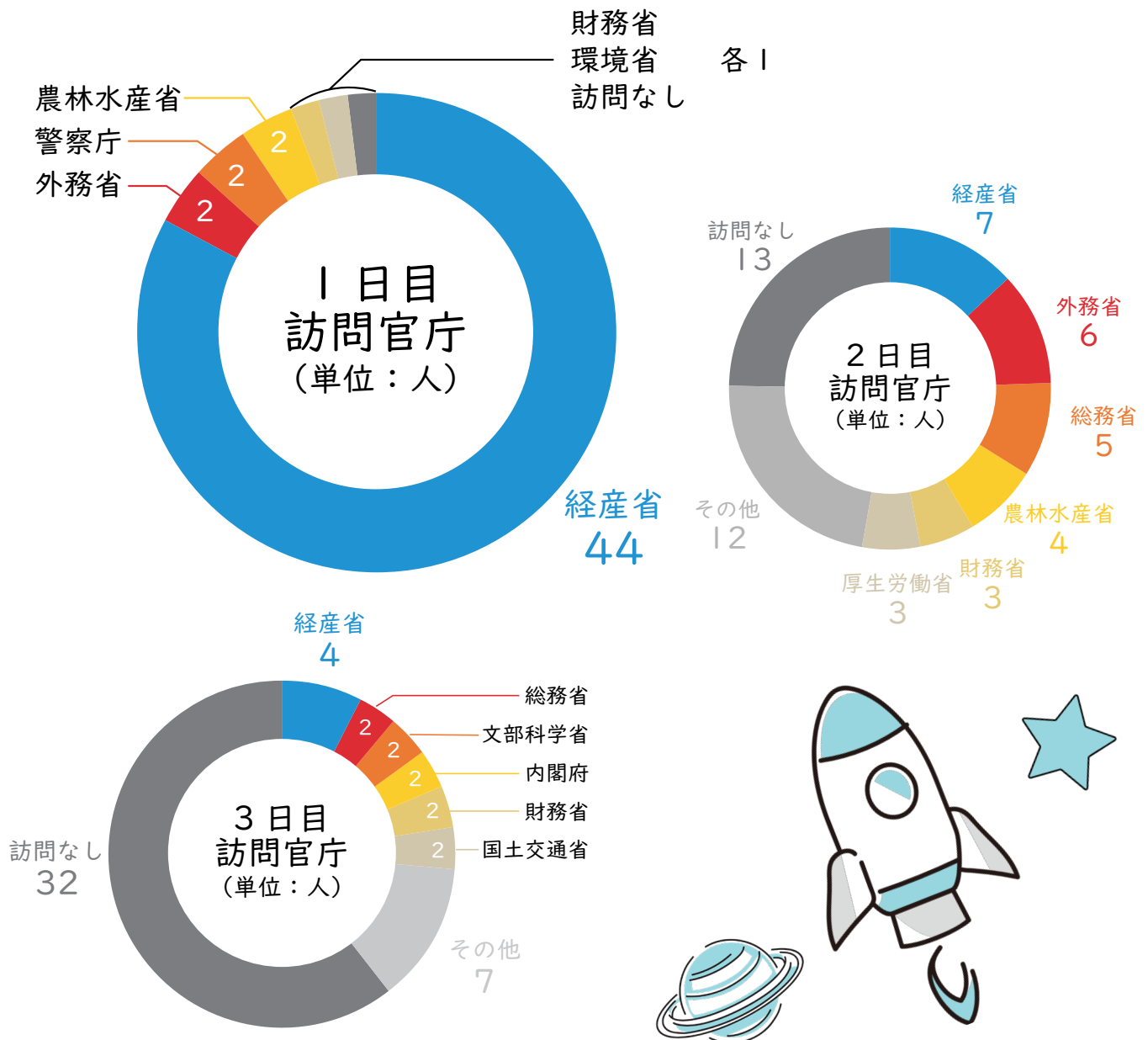


内定者が「気になっていた」省庁のアンケート結果です。外務省・財務省に目を向けていた人は確かに多いようですが、それ以外にも様々な関心を持っている人が集まっていることが分かりますね！

「なし」と回答されているのは、METI しか見ていなかった人。なんと 11 人もいます！ METI への愛が深いですね～（*’ω’*）

内定者の併願状況

各日程での訪問先省庁の一覧①



METIの内定者が、「何日目に」「どこに」訪問したかのアンケート結果です。ご覧の通り、「経産省は1日目でなければ厳しい」ということはなく、**どの日程からも内定者が出ている**のが事実です。

また3日目は、過半数の人が「休憩日」としていたようです。自分の体力や志望度合いを考慮して、**自分にとってベストなスケジュールを組む**ようにしましょう！

内定者の併願状況

私、ここに迷いました！（五十音順）

外務省

-----< 1 日目 >-----

- ・もともと外務省志望だった。
- ・高校生の時から、外交官に憧れていた。
- ・外交を通じて、**世界に日本を発信すること**に携わりたかった。
- ・在外邦人保護に関心があった。



-----< 2 日目 >-----

- ・もともと国連職員になりたいくて、国連外交には未練があった。
- ・**海外で働く生活**に憧れがあった。
- ・自分のやりたいことを、外務省でもできると思っていた。
- ・大学で、国際政治を専攻していた。
- ・模擬国連のサークルを通して、**外交**に対して強い関心があった。
- ・**経済安全保障**に関われる仕事ができると思った。
- ・**日本の最前線で外国と対峙**しているところが、魅力的だった。
- ・一番分かりやすく、国益を最優先に仕事ができそうだと感じた。



-----< 3 日目 >-----

- ・大学で、中国政治を学んでいた。

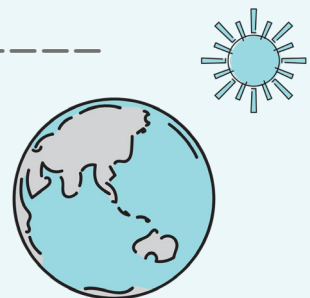
環境省

-----< 1 日目 >-----

- ・**環境問題**を扱うなら、環境省しかないと考えていた。

-----< 2 日目 >-----

- ・環境政策にも興味があった。
- ・大学で、環境工学を専攻していた。
- ・**温暖化対策**に携わりたいと考えていた。
- ・**GX**について、経産省と環境省の認識の違いを聞いたかった。



-----< 3 日目 >-----

- ・環境省のミッションの方が本質的に気候変動対策に近いと思った。

内定者の併願状況

金融庁

----- < 2 日目 > -----



- ・ **経済関係**に携わりたかった。
- ・ 気候変動対策技術を実装するには、**ファイナンスシステム**も大事だと思った。

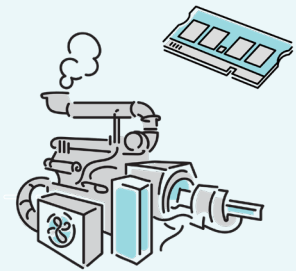
経済産業省

----- < 1 日目 > -----

- ・ 深い理由は無いが、**なんかかっこよかった**から。
- ・ 自分の理想像は、経済産業省でも農林水産省でもどちらでも実現できると思った。
- ・ 1week サマースクールが、非常に楽しかったから。
- ・ 自分のやりたい事が将来変わっても、**METI**なら**何でもできそう**だと思った。

----- < 2 日目 > -----

- ・ **地方創生**や**エネルギー**に興味があった。
- ・ 業務範囲の広さが魅力的だった。
- ・ 職員の方々の熱気が凄く、ここで一緒に働きたいと思った。



----- < 3 日目 > -----

- ・ **日本の技術力**や**文化**を世界に発信したいと思った。
- ・ 世界に誇れる日本であるためには**安定した経済成長**が不可欠だと感じた。
- ・ 経済産業省は最も幅広い分野に携わっており、自分の視野が広がると考えた。
- ・ 社会勉強のつもりだった。

警察庁

----- < 1 日目 > -----

- ・ 犯罪予防に興味があった。



原子力規制庁

----- < 3 日目 > -----



- ・ 大学で、原子力発電を学んでいた。

厚生労働省

----- < 2 日目 > -----

- ・ **障がい者支援政策**に興味があった。
- ・ 日本の地域格差に課題感があり、**社会保障政策**に携わりたいと思っていた。



本節、まだまだ続きます！（国土交通省、財務省 etc...）

内定者の併願状況

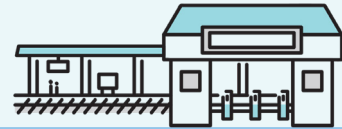
国土交通省

-----< 2 日目 >-----

- ・自分の仕事と社会のつながりが、目で見えやすいことに魅力を感じていた。
- ・経産省とは違うアプローチで、各地方の潜在能力を発揮させていると考えた。

-----< 3 日目 >-----

- ・大学で、インフラ系を学んでいた。
- ・インフラへの関心が強かった。



財務省

-----< 1 日目 >-----

- ・経済に留まらず、社会保障や教育などあらゆる分野から日本の発展にアプローチできる点に魅力を感じた。

-----< 2 日目 >-----

- ・全体最適の視点から、日本経済に貢献したいと考えた。
- ・税制、予算など国民の生活に大きく影響する業務に携わってみたいと思った。
- ・開発援助や国際金融システムの安定化に携わりたかった。
- ・財政を通して、日本のプレゼンス向上に貢献したいと思った。
- ・財政再建や国債に関心があった。
- ・圧倒的な所掌の広さに、魅力を感じた。



財務省財務局（総合職）

-----< 3 日目 >-----

- ・地方経済について、経産省とは違った面から地方を見ていると思った。



総務省

-----< 2 日目 >-----

- ・地方出向に興味があったから。
- ・日本の産業を発展させていくには、情報通信の力が不可欠だと思った。



-----< 3 日目 >-----

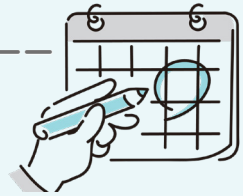
- ・地方行政に対するインパクトの大きさ、地方の現場との近さに惹かれた。

内定者の併願状況

内閣府

-----< 3 日目 >-----

- ・男女共同参画社会や、地方創生が面白そうだった。
- ・男女共同参画の仕事に関心があった。



農林水産省

-----< 1 日目 >-----

- ・祖父母の畑の手伝いをよくしていて、身近に感じていた。
- ・各地方の特色が担保されている社会のためには、第一次産業が重要だと考えた。
- ・これからの数十年において、食料産業が最重要課題の一つだと考えた。



-----< 2 日目 >-----

- ・第一次産業を通して、日本の経済のパイの拡大に貢献したいと思った。
- ・所管業務が、産業×地方、産業×海外という自分の就活の軸に合致していた。
- ・祖父母が農家なので、農業の課題を身近に感じていた。

文部科学省

----< 2 日目 >----

あ

- ・科学技術の振興に興味があった。

----< 3 日目 >----

- ・教育に興味があった。

Aa

防衛省

-----< 2 日目 >-----

- ・日本の平和と繁栄を守るために、安全保障政策に携わりたいと考えた。



以上、他省庁との併願理由まとめでした。皆さんの官庁訪問での、訪問順を決める一助になれば幸いです！

補足：少数派ですが、国家一般職や、地方公務員を併願していた内定者も！



内定者の併願状況

他省庁→METI の決め手

他省庁を見ていたMETIの内定者が、最終的にMETIを選んだ理由は何だったのでしょうか。幾つかの声を紹介します！

● ● ● METI のカルチャー ● ● ●

働く際のモチベーションについてお話を伺った際に、自分自身もそれに**納得感**を持ったり、**共感**できると感じる方が、METIに多くいらしたから。**自分自身の考えを持つ**ことが求められる組織風土がMETIには存在するように思えて、魅力的に感じたから。(By トナカイ)

未来志向で動いているところ。**自分で問題提起**をして、それをアクションに移せるところも魅力だった。(By やべえべや)

原課訪問先の職員の方に相談した際、**将来自分が笑っている姿**を想像できる場所に行くといいのではとアドバイスをもらい、経産省を選択した。(By ちゃんこ)

自分の変化に積極的で、明るく周りを巻き込んでいく**キャラクター的に経産省が一番合っている**と感じました。仕事内容が技術・社会・経済と幅広く関連していて、それらすべてに興味があったのもMETIを選んだ理由です。(By ぴかたろう)



内定者は知る！！官庁訪問 Tips ④

省庁によって、カルチャーが全く異なることを実感しました！自分に合った風土を見つけることも官庁訪問のポイント♪



内定者の併願状況

業務内容を知って

一生の仕事にしたいかを考えた。マルチ外交は非常に楽しそうだし、人付き合いも好きなので、向いているとも思ったが、スポットでやって楽しいことであって、ずっとこれはできないと。また、外務省の仕事内容のほうが抽象度が高く、一方で自身の適性は、具体的体験や行動から問題意識を持つ傾向にあり、解決策も抽象的方針設定よりも、具体的に実現のその瞬間まで詰めて行動を起こすほうが得意だったため。(By はるこ)

他省庁も回って、改めてどういう形で自分が地方に関わりたいかと考えた時に、地方の産業を共に生み出したり、育てたりすることでその経済を活性化させることに尽力したいと思い、最終的に経産省を選びました。(By 茶碗)

安全保障や地方創生に必要な要素の全てに携わることができると思ったから。(By Yoshiki)

人間の根源的な欲求に訴えかける政策を打つことが出来ると考えたから。例えば、「野菜食べろ、寝ろ、タバコ吸うな」と言っても国民の理解は得られない。「健康経営すれば従業員のエンゲージメント、株価、業績上がります」という風に、経営者や投資家といったステークホルダーの利益に直接訴えなければ中々実現しない政策があると思った。(By かっちゃん)

官庁訪問で、他の省庁も社会課題解決に対して、大きな役割を果たしていると感じた一方で、経済産業省は経済という切り口から非常に大きな範囲の課題に対して取り組むことができると感じたからです。(By わさ)

今後、気候変動対策においてネックになるのは hard-to-abate 産業での技術革新と社会実装だと思った。産業の発展と地球環境の維持のバランスに働きかける力を持っているのは経済産業省なのだろう、そして気候変動と対峙する社会システムをつくりたいのであれば、いるべき官庁は経産省だと。(By とら)

1

2

3

特集

4

内定者の併願状況

総合的な視点から

圧倒的に楽しそうだった (By タピオカ)

今の自分が知らない世界があると思って、ここで働くことができたなら今の延長では見られなかった人生、社会を実現できる気がしたいろんな課題がある中で、根本的に解決するためには日本経済を伸ばして盤石な物にする必要があると思った。職員の方が予想以上に自分の意見を受け入れてくれて柔軟で素敵だった。受けている学生のキャラクターがあっていると感じた。(By 烏龍茶)

「どうしたら日本を勝たせられるか」を常に考えられる戦略的なカルチャーを感じ、日本の成長戦略を練るダイナミックさは経産省だからこそ経験できると思ったから。経産省で国際交渉に立つ場合、産業界の経済的利益を背負っているため具体的・実利的な外交交渉に臨め、日本の国益に貢献する実感を持ちやすいと感じたから。留学を通して、国際的プレゼンスとは経済力や技術力といった日本国内から産まれる力だと感じ、日本の成長戦略を描いて国を動かしていく経産省のダイナミックさに惹かれた。(By ハピ)

自分以外の志願者の皆と話す時間がとても刺激になり、とても良い時間になったため。また、本当に国のため、社会のために貢献できるのは経産省ではないかと考えたから。(By まちお)

自分との相性を重視した人もいれば、“METI”という組織そのものに惹かれた人もいたり。決断の決め手は、人それぞれでした。

みなさんなら、どのような
「ものさし」
で人生を選びますか？



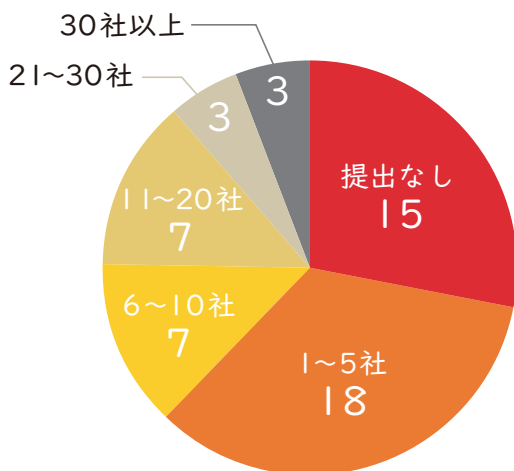
内定者の併願状況

民間企業・進学との併願

METI の内定者には、官庁訪問と並行して民間就活や進学を考えていた人もいます。その実情を、アンケートを取って調査しました！

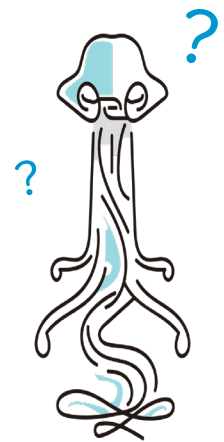
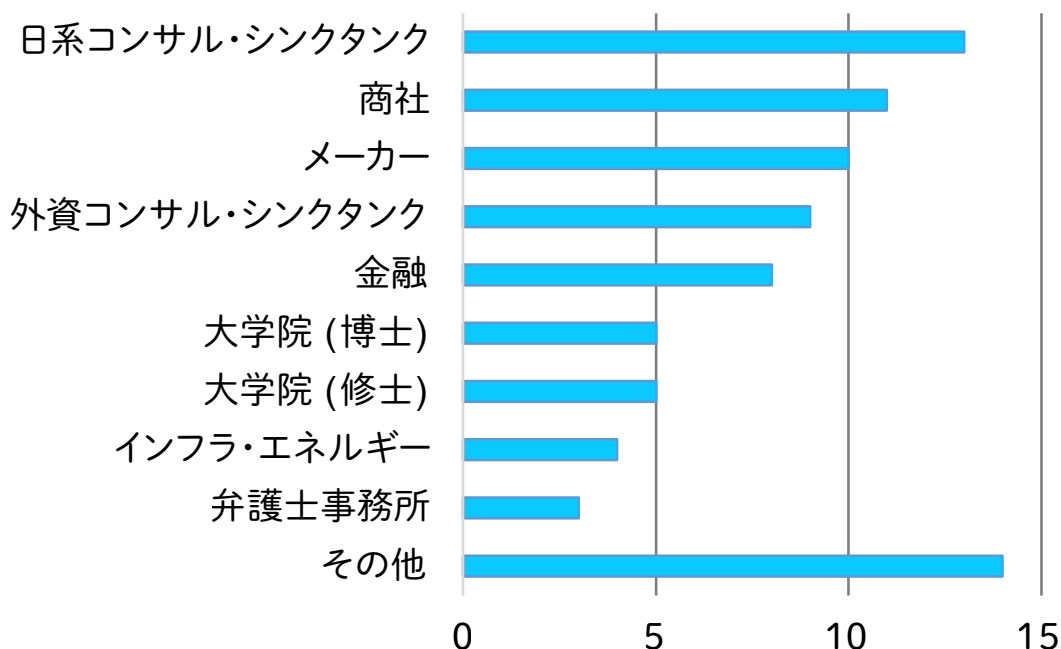
内定者の民間併願に関するグラフ

ES 提出数（単位：人）



左のグラフの赤色部分は、公務員専願だった人数を指しています。多くの内定者は、民間就活と並行していたことが分かりますね！
また、下のグラフが示すように、併願先の業界は多種多様でした！

ESを提出した民間業界(複数回答可)



内定者の併願状況

私の考え、こんな風になりました！

コンサル・ソフトウェア・通信

今後の社会課題を解決していく上でITの知見を有することは強みになるという考えから、公共×IT案件に取り組むことができるコンサル、Sierを見ていた。



官庁訪問を通じて、業務の社会に対するインパクトの大きさを再認識したため。
(By ST)

金融・メーカー

日本の経済発展に寄与し、日本のプレゼンス向上に貢献したいとの考えから、官庁の他、その役割を金融面から担うことのできる金融機関や、技術面で果たす役割の大きい重工業メーカーを志望。



熱く信念を持って働いている職員が多く、ハードな環境ではあるが、その分やりがいも大きいと感じたため。企業の挑戦が活発に行われ、経済的に豊かで、持続的に成長し続ける日本を実現するために最も適している場所だと感じたからです。
(By けい)

商社・コンサル・金融

留学により就活できる期間が短く、早期に内定が出る外資系に的を絞った。



戦略コンサルも、日本企業の国際競争力を向上させる戦略を練るという意味で経産省への志望動機と重なると思ったが、支援できるのは一企業単位であるため、経産省で産業全体を動かす/新しい産業を創出するダイナミックな仕事をしたいと思ったから。日本全体の成長戦略を練り、外国政府と国益をかけて交渉する、といった仕事は、日の丸を背負う経産省ならではの仕事だと思ったから。(By ハピ)

「官」と「民」の違いを多角的に検討し、自分が身を置くのはどちらのポジションが良いのか、自分なりに見極めましょう！

内定者の併願状況

メーカー

経産省でなければ研究者になろうと思っていたから。



自分が課題意識を感じる社会課題に向き合ってアクションがとれることに、やりがいを感じると思ったから (By なまざかな)

商社・金融

エネルギーに関わりたいと考えていたため総合商社を志望していた他、メガバンクでプロジェクトファイナンスをするのも面白そうだなとぼんやり考えていました。



商社の仕事も極めて魅力的であり、官庁訪問直前まで迷っていましたが、経産省の方がより「他の誰にもできない仕事、世界で唯一の仕事」ができると考えて決断しました。(By ててて)

渉外弁護士

大学で力を入れて勉強した法律の知識を使って、日本企業の成長をサポートできる点に魅力を感じた。



クライアントの企業だけでなく、もっと大きなスケールで日本企業全体の成長をサポートしたいと考えたため。(By くらげ)

博士・メーカー・電力

民間に行くなら福島第一原子力発電所の廃炉に携わりたいと思ったから。



自分が課題だと考えることを解決するためには、行政に行くのが最も近いと思ったから。現在の行政の在り方に疑問点があり、自分で変えるしかないと思ったから。(By Yoshiki)



内定者の併願状況

修士・商社・コンサル

経済安全保障がやりたかったから。経済安全保障チームのある外資系コンサルへの就職を考えていた。また、国連職員になる道を考えていた頃は公共政策大学院を志望していた。



経済安全保障という問題のくくり方にかねてより違和感があり、これを一生の仕事にはしたくないと考えていたところ、経産省のある室長の方と話して「日本経済への強い危機感を踏まえれば、経済安全保障だけがやるべきことではない」と言われ、やはり経済安保を相対化しつつ、**日本をもう一度経済大国へ**、が自身のやりたいことだと納得できたから。(By はるこ)

以上、民間企業・進学との併願理由まとめでした。**官庁訪問を通して自分の考えを、どんどんアップデート**していきましょう！



官庁訪問の対策を、自分だけで行うのは少し不安…？そんな方に向けて、国家総合職志望者の互助団体を2つご紹介します！

・ **DAWN** (時期によって参加要件が異なる)

首都圏の大学生を中心に、試験・面接対策や官庁訪問の自主ゼミ等を行っています。活動に興味がある方は、下記アドレスまでメールを送ってください！

<Contact> dawn2024.representative(at)gmail.com ※ (at) は@に変更ください。

・ **京僚会** (参加要件一切なし)

関西の大学生を中心に、説明会情報のメーリス配信や試験対策などを行っています。ご入会は、[Google フォーム](#)または [X \(旧 Twitter\)](#)、[Instagram](#) から！

<Contact> kyoryokai2025(at)gmail.com ※ (at) は@に変更ください。

第3章

地方勢のはなし

32 地方出身者の割合

33 地方出身者の出費

35 地方勢の思い出話

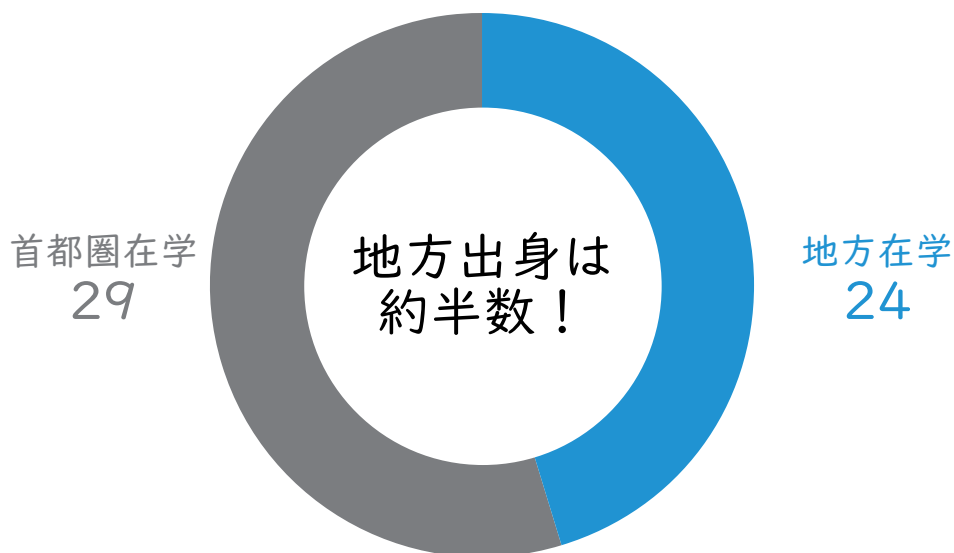


地方勢のはなし

地方出身者の割合

国家総合職は首都圏の大学生が有利…？ いいえ、全くそんな事はありません！以下に示すグラフが、真実を照らし出してくれます。

地方在学者の割合



確かに体力・精神面の点で、多少のディスアドバンテージがあることは否定できません。しかしながら METI からの「評価」には全く関係せず、**地方勢の内定者も数多く存在**しています！



内定者は知る！！官庁訪問 Tips ⑤



インターンや説明会は、オンラインでも開催されていたので、遠方からでも全く不自由なく情報を収集することができました！

地方勢のはなし

地方出身者の出費

地方勢にとって、官庁訪問における出費は気になるところ。実際には、いくら位のお金が必要だったのか、出費別に分けて分析をしました。

所在地別・官庁訪問での費用（一例）

単位：円					
ニックネーム	所在地	総額	宿泊費	交通費	食費
茶碗	北海道	160,000	110,000	40,000	10,000
丁寧な暮らしの逆	北海道	100,000	0	90,000	10,000
Yoshiki	愛知	170,000	120,000	20,000	30,000
やべえべや	京都	180,000	140,000	26,000	14,000
らりる	京都	170,000	100,000	30,000	30,000
トナカイ	京都	140,000	90,000	30,000	20,000
ちゃんこ	京都	100,000	53,000	17,000	20,000
Ruu	京都	90,000	37,000	27,000	20,000
総合人間になりたい	京都	32,000	0	28,000	4,000
PKMN	京都	27,000	0	27,000	0
わいち	大阪	110,000	70,000	25,000	15,000
りく	大阪	100,000	60,000	30,000	10,000
つとむ	大阪	70,000	43,000	24,000	3,000
烏龍茶	鹿児島	150,000	100,000	30,000	20,000

外れ値はありますが、官庁訪問では20万円前後の出費があると想定しておくといいでしょう。学生にとっては、かなり痛いですね...

そこで地方勢が、実際にどのようにして出費を抑えていたか、リサーチした結果を次のページにまとめています。特に、地方の大学に通っている学生は、必見ですよ！



地方勢のはなし

出費を抑える！私なりのマル秘テク！

- ・クール毎に、夜行バスで大阪に帰ってホテル代を節約した。
- ・最終日は夜行バスで帰った。
- ・早めに予約するとホテルや航空券は安くなるので、余裕を持って予約した。
- ・お弁当と水筒は持参した。
- ・ポイントが貯まる旅行サイトを経由して、更にホテル自体も独自のポイントが貯まる全国展開しているビジネスホテルを選んで連泊した。
- ・翌日がフリーの日は、ホテルではなく知人宅に泊めさせてもらった。
- ・東京駅から霞が関まで歩いた。
- ・朝食付きのホテルプランは割高なので、朝食は自分で早起きしてコンビニで買った。
- ・普段の夜ごはんは、ホテルの近くにあったはなまるうどんによく行った。
- ・土日は安いカプセルホテルに移動して、できるだけ宿泊費を抑えた。
- ・第1クールは、オンラインで参加した。

なるべく官庁訪問の費用を抑えるためには、様々な工夫が考えられます。しかしながら、お金を節約することに注力しすぎて、本番の体調・体力に支障が出てしまっては、本末転倒です。自分のできる範囲内で、自分なりの計画を立てるようにしましょう！



東京駅から METI までの主なルートと所要時間は以下の通り。

- | | |
|--------------|-----------------------------|
| ・東京駅から徒歩 7 分 | 千代田線：大手町駅 — 霞ヶ関駅（所要時間 13 分） |
| ・東京駅直結 | 丸の内線：東京駅 — 霞ヶ関駅（所要時間 8 分） |
| ・東京駅から徒歩 9 分 | 日比谷線：日比谷駅 — 霞ヶ関駅（所要時間 14 分） |

ホテルを取る際は、上記電車の沿線エリアがオススメです！

地方勢のはなし

地方勢の思い出話

地方出身ならではの、官庁訪問の思い出エピソードを集めました。実際に体験しなければ分からないような情報が、満載です！

空いた日はクラシックを聞きながら、霞が関～大手町を散歩し、モチベを上げていた (By りく)

永田町周辺のホテルに宿泊していたが、毎日ホテル近くの町中華の店を順番にまわって、食べ比べしながら翌日に向けて英気を養っていた。(By わいち)

外食が多かったため、バランスの良い食生活を送ることが難しかった。私は、食生活が体調の変化に現れやすいので、できるだけ野菜を食べるように心がけた。(By トナカイ)

地元のお菓子を持って行って、地元を思い出していました。ホテルにはパジャマあるけど、なるべくストレスをなくすために普段使っているパジャマを持っていきました。(By 烏龍茶)

洗濯をする日程も考えないと支障が出るので、スケジュール管理はこまめに行った。(By Yoshiki)

官庁訪問 2 日前に日本に到着しましたが、着いた日の翌日は時差ぼけで一睡もできませんでした。海外から参加する場合は 2 日以上余裕を持って現地入りすることをお勧めします。(By Swan)

ホテルに帰るといつも 1 人で寂しかったので、毎晩友人や家族と電話をしていた。メンタルのリセットになったのでよかった。また休日は、東京の観光を楽しんで、気分のリフレッシュをした。(By やべえべや)

1

2

3

特集

5

高橋拓磨



末政憲司



このインタビューについて

内定者（内定者 BOOK 編集部）から、総合職採用担当の末政さん・高橋さんお二人にお話を聞いていきます。

内定者 BOOK は、

- ①採用活動に関しての情報格差をなくすこと
 - ②経産省や国家公務員の魅力を伝えること
- を目的として、内定者有志により就活生に向けて作成されるパンフレットです。上記の二軸に沿って、前半は採用活動に関して、後半は経産省に関して伺います。

採用活動に関して

試験の区分や席次、説明会の参加回数は重要ですか？

末政 試験の区分や席次は全く関係ありません。経産省が見ているのは、カルチャーフィットです。カルチャーフィットとは何かについてはこの後お話しします（「Q.経産省に関して」）。説明会の参加回数は、採用担当の視点では関係ありません。ただ学生の皆さんにとっては重要だと思っています、最終的な進路選択の際に「決断の納得度を最大限まで高める」という意味では、経産省か別の組織かに限らず、接点を増やして、深く知った上で決断することが皆さんにとって重要だと思っていますからです。ただ私たちにとって、参

総合職採用担当者 スペシャルトーク

経産省に新卒で入る意義は？
官庁訪問で見ていることは？
気になる疑問に答えます！

事務系採用担当

末政 憲司さん

入省 13 年目

これまで：産業競争力強化法の作成、原子力政策、新政策の省内編成、法令審査、投資ファンド出向など

米国留学（国際公共政策 & MBA）を経験

趣味：海外旅行、サウナ、テニス



加回数が多いから内定しやすいとか、少ないから内定しにくいなどは全くありません。

採用イベントに事前知識は必要ですか？

末政 事前の知識は要りませんが、あるとベターなのは「政策とは何か」という概念の理解です。是非、政策とは「意思を持った主体の行動を変容させるツール」だという心構えで色々な政策の話を聞いてみてください。すると、この政策は誰のどういう行動を変えて、社会をどういう方向に持っていきたいのか、という思考のフレームワークになるので、説明会での吸収量が倍増すると思います。

政策の概要を捉えるために見てきた方が良いものはありますか？

末政・高橋 我々採用担当による説明会の中でご説明しているの、ぜひお越しください。また、9月から12月に開催している「METI Policy Seminar（政策テーマ別説明会）」では、冒頭、各担当講師のプレゼンの前に、我々から「政策とは何か」についてイントロダクションをしているのでお勧めです。

官庁訪問でのポイント

エンタリシート・人事面接・原課訪問それぞれで学生が気をつけるべきポイントがあればお答えいただきたいです。

高橋 「自分という人を短い時間で端的に説明できるように」とよく学生の皆さんにお伝えしています。面接という限られた時間で、自分はどうか、何を経験してきたか、何を大切にしているのか、これから何を考えて人生を過ごしていきたいのかといった、自分についての説明はしっかりとできるようにしてください。これはエンタリシート、人事面接、原課訪問、すべての選考課程に共通すると思います。

末政 官庁訪問でのポイントは人事面接で、評価はここで決します。エンタリシートも原課訪問も、ある意味、人事面接のための準備になり得るものなので、「自分を表現する」ことがすべてに一貫して大事かなと思います。エンタリシートは面接の参考資料で、原課訪問は人事面接の皆さんのインプットの機会です。というのも、原課訪問は巷で言われる原課「面接」では全く無く、人事面接に向けて人や政策を知る機会と思って頂ければと思います。原課訪問でどういうインプットを得て、それを人事面接でどうい

風にアウトプットするかが大事なかなと思います。

原課訪問は官庁訪問の特徴的な部分だと思いますが、どのような意図がありますか？

高橋 原課訪問は、仕事と似ていると思います。我々の仕事も、色々な人に話を聞きに行つて、自分の仮説を確かめたり、自分のやりたい事がどれくらい社会と合致しているのか意見をぶつけ合ったりしています。そのため、官庁訪問における、複数の人に会って自分の考えをアップデートしていく作業は実際の仕事とても似ていて、そこで適性が出ている気もします。自分の考えが広がっていくことが面白いと思える人は経産省で活躍できるかもしれません。その意味で、お互いにカルチャーフィットを見ていると思います。

所属大学や留学経験の有無は採用に関係しますか？

高橋 全く関係ありません。カルチャーフィット、つまりその人と経産省がどう合っているかを見ていく中で、大学でどのようなことに取り組んできたかを見ます。その中の一つに留学があるかもしれませんが、要件では全くないです。留学に行っていない人も、その時間で過ごしてきたものがあるわ

けで、その話を色々聞いてみたいです。
末政 外っ面ではなく中身を知りたい
と思います。例えば〇〇大学を選ん
だ理由も人それぞれだと思うし、留学
行く／行かないの判断も人それぞれだ
と思います。自分はこういう想いで、
こういう活動をしていたといった話を
聞きたいです。

経産省に関して

学生に期待する力は何ですか？・どん
な学生が経産省に合うと思いますか？

末政 よく巷で言われる「一般的な能
力」、例えば、論理的思考力や課題解
決能力、コミュニケーション能力、独
りやりではなくチームで仕事を遂行
できる人間力といったものは大前提と
した上で、経産省のキーワードは「自
分」だと思います。私はよく説明会
で「コメンテーターはいりません」と
いう話をしていますが、自分でやり
たいことをやっていて、それをただ”
やりたい“でなく”行動に移す“とい
うのも大事な力だと思います。そうし
たものを持っている人は経産省にカル
チャーフィットすると思います。

高橋 私は「変化する力」だと思いま
す。経産省に入ってから、本当に色々
な分野の仕事をする中で、様々な知識
を得て多くの人と発信する日々です。
学生時代の自分の専門性を活かしても

interviewee

技術系採用担当

高橋 拓磨さん

入省 11 年目

これまで:FIT 法改正、航空機産業、通商政策、
コロナ禍の人工呼吸器調達、福島復興推進な
ど

福島 × 芸術の PJ メンバー経験も

趣味: 筋トレ、ランニング



らいながらも、そのバックグラウンド
をも飛び越えて、色々な情報を吸収し
つつ自分なりの考えもアップデートで
きる、”変わる力“は大事だと思い
ます。変わる為には、よく話を聞き

てインプットする力、自分のことを説
明できるアウトプットの力、それに向
けた自分の成長志向が必要です。そう
した変わる力“を持つている人に
とても期待しているし、学生は最も大
きなポテンシャルを持っていると思い
ます。発射角度、成長曲線の角度の高
さが、5年後10年後の自分の地点を
変えていると思うと、その変わり幅が
大きい人ほど一緒に働きたいと感じま
す。

——そうですね。内定者は結構そう
いう方が多いような気がしますね。

経産省の強みは何ですか？

末政 あり過ぎますが、キャリアの発
射台として、これ以上ない組織だと思
います。我々は日本国政府の人間なの
で、ルールメイカーであり、政治との
付き合いも沢山あります。一方で、霞
が関とビジネスサイドの結節点にもい
るのが経産省です。ビジネス界のフロ
ンティアと切磋琢磨しながら全員を巻
き込んで動かしていくので、非常に多
様な経験ができます。さらに他省庁と
比べてもグローバルとローカルという
幅の広さがある。加えて、マクロ経済
運営もあれば、中小企業政策のような
目の前に現場があるミクロな政策もあ
る。プライベート／パブリック、グロー
バル／ローカル、マクロ／ミクロ、全

部経験できる組織は経産省しかない
と思います。

組織がどれだけ幅広いことをやってい
ても、結局その人が就いたポストの分
しか体験できないのではとも思うので
すが、どうなのでしょう？

末政 確かに短期間で全部は経験でき
ませんが、経産省では、大抵2年ごと
に様々なポストを担当していきます。
各ポストで得られるスキル・経験・ネッ
トワークが、複数のポストでたす掛け
されていくように、それぞれの相乗
効果で幅が広がっていくという感覚で
す。

経験の幅が広いということは、一方で
経験が浅くなることはないのでしょうか？

末政 時間の密度が濃いと思います。
経産省はバッテリーボックスに立つ回数
が多い、すなわち見習いとしての模倣
でなく本番に挑戦する機会が多いと言
われています。会議ひとつとっても、
若手が自分で説明する機会が非常に多
いです。外からも経産省の職員として
見られているので、民間企業の方との
ディスカッションでも若手が早くから
出ていって日本の政策について省庁の
立場で話す機会があるなど、経験の密
度は濃いと思います。

高橋 私はずっと、経産省の強みは

「人」だと思っています。「この人には敵わない」という人であふれている。同期や上の世代の方はもちろん、後輩にも尊敬できる人がいて、「人の凄さ」はどの組織にも、全世界で見ても勝てる自信があります。

なぜそこまでの人が集まってくるのでしょうか？

高橋 採用時点で立派な人達が来てくれているのですが、それ以上に経産省のカルチャーや仕事によって成長していくのだと思います。上の立場の人達が「自分もそうやって育ってきたから、若手に挑戦して成長してもらいたい」という気持ちを持っていて、「もっとやってみる」という意識が全員にあるというカルチャーが本当に凄みのある人を育てているように感じますね。

新卒で経産省に入る意義

転職市場の活性化も含めて労働市場は変わってきています。今、新卒で経産省に入る意義は何でしょうか？

末政 若手時代の10年ほどでは、単純な社会人能力に留まらないスキル・経験・ネットワークのすべてが指数関数的に伸びていきます。経産省では上の立場になるほど、今まで見たことのない国家的課題に立ち向かわなければなりません。その際、例えば、対米交

渉で得たネットワーク、個別の産業界に関する知識、マクロ経済政策やエネルギー政策の経験、といった多方面の「引き出し」は、若手からの経験の蓄積によって得られるものです。難しい国家課題に挑戦する時ほど、この「引き出し」を糧に乗り越える必要があると思います。

高橋 新卒で入るということは、どう国を動かすか、どう国が意思決定するかを最初から学べる良い機会だと思います。政策を実現する上で何が必要か／組織がどうやって意思決定をしているか／国が意思決定する時に誰が何のボタンを押しているのか。後に上の立場になっていった時に、そうした最初の1・2年目で学んだ組織の構造や生態を踏まえて国を動かしていくこととなります。早くからそれを学べることは1つのチャンスだし、キャリア形成にとっても非常に大きなメリットだと感じます。

経産省に入って得られるものは何ですか？

高橋 抽象的なところでいうと、「生きがい」です。自分がやったことが、どう国の意思決定や大きな政策に結び付いているかを常に意識しながら仕事をすることで、その成果が10年後・20年後の日本を作っていると思えている時が、最もやりがいに繋がります。



スキルという意味合いだと「リーダーシップ」です。私達の仕事は必ず1人ではできない仕事で、経産省だけでなく他省庁や民間の方など、誰かと一緒に繋がりを作りながら大きな物事を作っていく仕事です。そういった仕事を積み重ねるほど、リーダーシップは身につけてきます。

末政 経産省の成長環境としての特徴は、先述のプライベート／パブリック、グローバル／ローカル、マクロ／ミクロという3つの軸での幅の広さだと思います。例えば、経産省では、簿記や財務諸表といったファイナンスの知識や、マクロ経済がどう動いているかという経済学の理解の両方を求めら

れます。両方できる裾野の広さはパブリックとプライベートの接点だからこそです。また、経産省の仕事はすべてグローバルに考えざるを得ない。地方創生や中小企業政策であっても、日本の中小企業が海外のマーケットをどう取りに行くかなどグローバルな視点を持っていないと通用しません。さらに、法律を作るといった経験も民間ではできません。そういう意味で、経産省は対峙するものが幅広いからこそ、多様な知識や経験が身につきます。そうしてキャリアを重ねていけば、皆さんが将来どんな道でも活躍できる可能性が広がると思います。

ご自身が経産省に決めた理由・続けている理由は？

末政 経産省に決めた理由は、「自分が何をしたいか」と経産省のミッションが、「自分がどう生きたいか」と経産省のカルチャーが、それぞれシンクロしていると感じたからです。「人生を振り返ったときに後悔したくない」という想いが強くあって、自分の努力を通じて日本がどれほど良くなるかがいてみたい、その努力をせずして引退を迎えるのは絶対後悔すると思えました。政府の中でしかできないことが沢山あるので、それを追求したいです。政府の中でなぜ経産省かは極めてロジカルに考えていて、日本の場合は経産

省が重い責任を担い、だからこそ面白いと思うからです。日本は経済を通じてプレゼンスを保っており、逆に言う

と、日本が抱える諸課題（社会保障や財政再建・地方創生・防衛力強化・外交力強化など）のすべてが、経済なくして成り立ちません。そう本気で思っているのが、日本を良くしたいなら経産省と考えたのが理由です。その考えがここまで働いても全く変わっていないのが仕事を続けている理由の一つです。もうひとつは、まだまだ追いつけないという背中を見せてくれる先輩方がたくさんいるからです。この人達を超えずして引退できないという気持ちで追いかけ続けています。

高橋 経産省は日本の本質的な課題を

キャリアを通じてずっと追及できる所で、それがとても面白いと思ったからです。私は学生時代に、街づくりを通して地域をどう良くするかという研究をしていました。その際、人や社会に関する課題は複雑で、本質を見抜くには単眼的でなく中長期的かつ複眼的な視点が必要だと痛感しました。せっかくの人生だから、日本の課題を様々な視点から常に追究し続け、自分が日本の為に何ができるか考え続けたいと思ったのが理由です。続けている理由は、それが満たされていることと、「成長できているから」です。自分が変わり続けているという実感が常にあっ

て、これからまだ見ぬ自分になれるんじゃないかというワクワクがあるからです。

なぜ自分の人生を国を良くするために使うのか、そのモチベーションはどこから来ていますか？

末政 純粋に、日本を「この国に生まれてよかった」と思える国にしたいという想いがあります。よく就活生から、「原体験があるんですか？」と聞かれますが、「そんなものはない」と。日本に生まれて日本に育って、「日本を良くしたい」とシンプルに思っています。だから「生まれた日から昨日までの毎日が原体験」といつも答えています。

高橋 私のモチベーションは「多くの人が関わるインパクトの大きい仕事をしたい」ということにあります。せっかく人生を生きているのであれば、より多くの人に何か影響を与えられたいいなと思うし、その人の人生の一部になるようなことができればいいなと。日本の1億2000万人に裨益する産業政策に携わることはそれに合致する気がします。

キャリア選択と今後やりたいことは？

末政 長期的には、「挑戦したい人が、挑戦したい時に、挑戦できる社会」を創るために、これからも走り続けたい

です。短期的には、個別の産業政策をやりたいと思っています。

高橋 長期的には、10年後・20年後から振り返った時に「この仕事をやっていてよかった」と思いたい、将来日本が変わった景色を見た時に「自分があの仕事をやったから今の景色がある」と思いたいです。短期だと、私は福島と芸術という組み合わせで新しい取り組みをやっている、芸術という経済的価値が測りづらいものに対して民間企業など多くのステークホルダーがもっとお金を出す流れを創る政策を作りたいです。

読者の皆さんへメッセージ

末政 私は経産省の為ではなく、日本を少しでも良くしたいという想いで、この仕事をやっています。その意味では、まずは、皆さんの決断の納得度を最大限高めることが私の責務です。その上で、若い世代の皆さんの中で、この国を良くしたい、そのために本質的な課題に自分でも挑戦してみたいという人が1人でも増えることも嬉しいです。イベントへの参加、お待ちしております。おります……！

高橋 自分の可能性を大切にしたいです。悩んでいる時というのは、不安だったり、自分は経済産業省でやっていけるのか・自分には官僚なんて大

変で無理じゃないかというような、一歩踏み出すのが億劫になってしまっている時かもしれません。でも、学生の皆さんはこれから何にでもなれるし、なりたいたい自分になれる機会が最も多い人達です。ぜひ「自分はこうありたい」「これにチャレンジしてみたい」と少しでも思うのであれば、その気持ちをリスpektして、少し勇気を持って一歩踏み出してほしいと思います。

聞き手…内定者BOOX編集部
経済産業省本省にてインタビュー



第4章

内定者データ

- 42 データあれこれ
- 47 個人的な心配ゴト
- 48 おまけ：集合写真

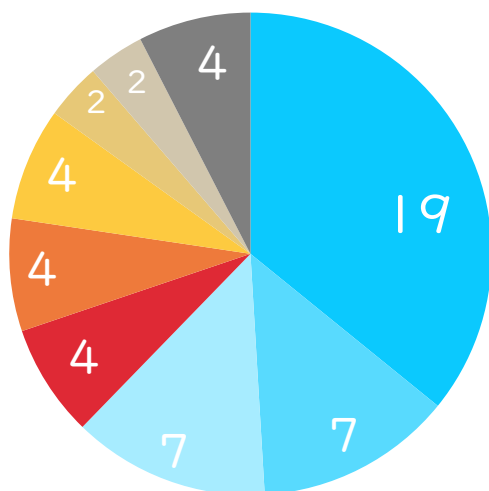


内定者データ

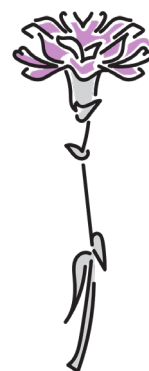
データあれこれ

内定者のバックグラウンド・志望動機など、官庁訪問を考えている皆さんは気になることが多いと思います。そこで、それらをグラフとワードクラウドで可視化してみました！

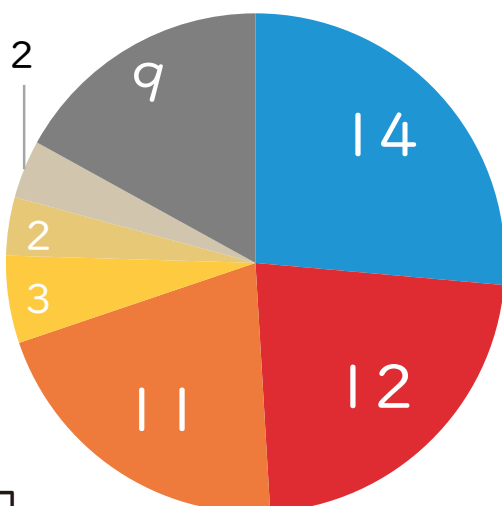
出身大学（大学院含む）



- 東京大学
- 京都大学
- 慶應義塾大学
- 一橋大学
- 早稲田大学
- 大阪大学
- 北海道大学
- 東京工業大学
- その他



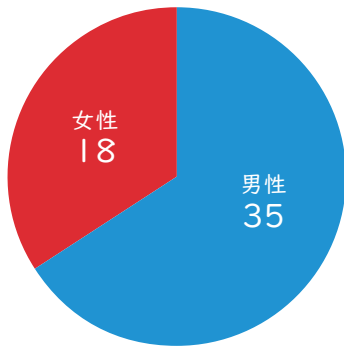
大学で所属していた学部



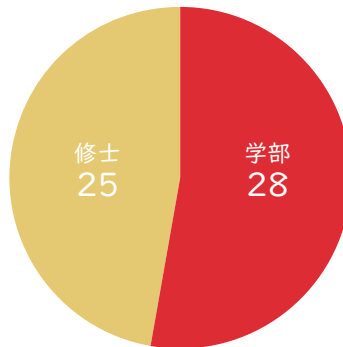
- 法学部
- 工学部
- 経済学部
- 理学部
- 商学部
- 文学部
- その他

内定者データ

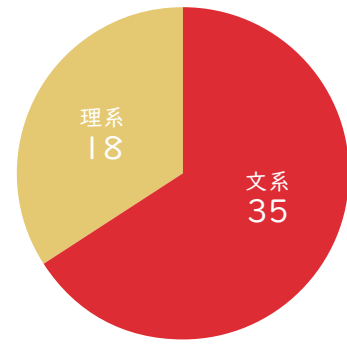
性別



学位別

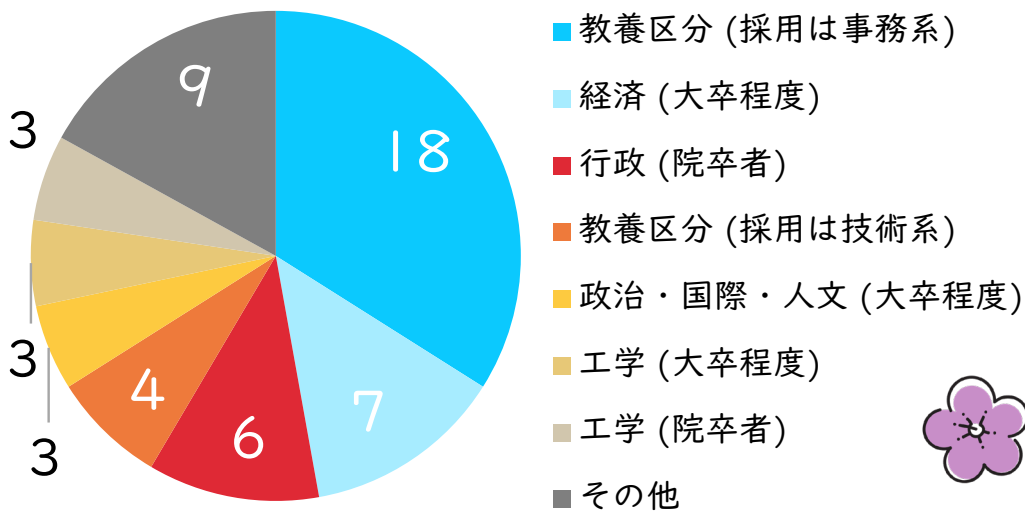


文理別



グラフを見ていると、どの項目を取っても偏りが無く、本当に色々な属性の人が集まっていることが分かりますね ... !

国家総合職の試験区分



特集

4



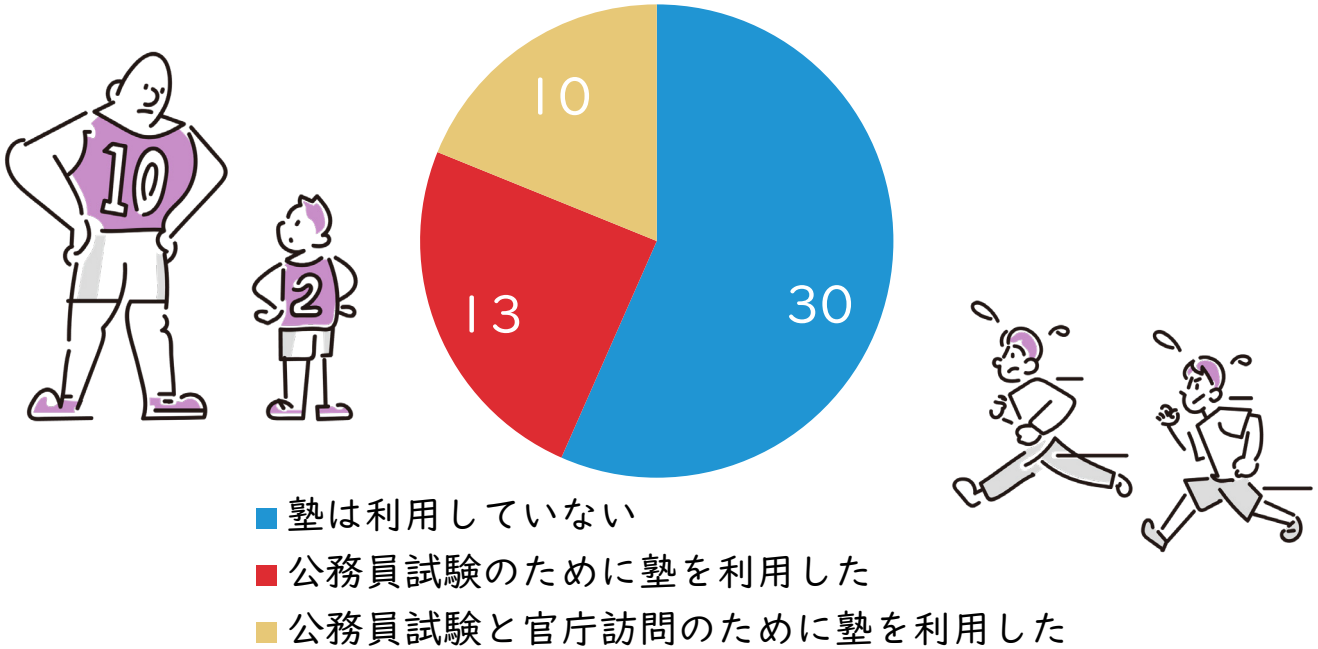
内定者は知る!! 官庁訪問 Tips ⑥



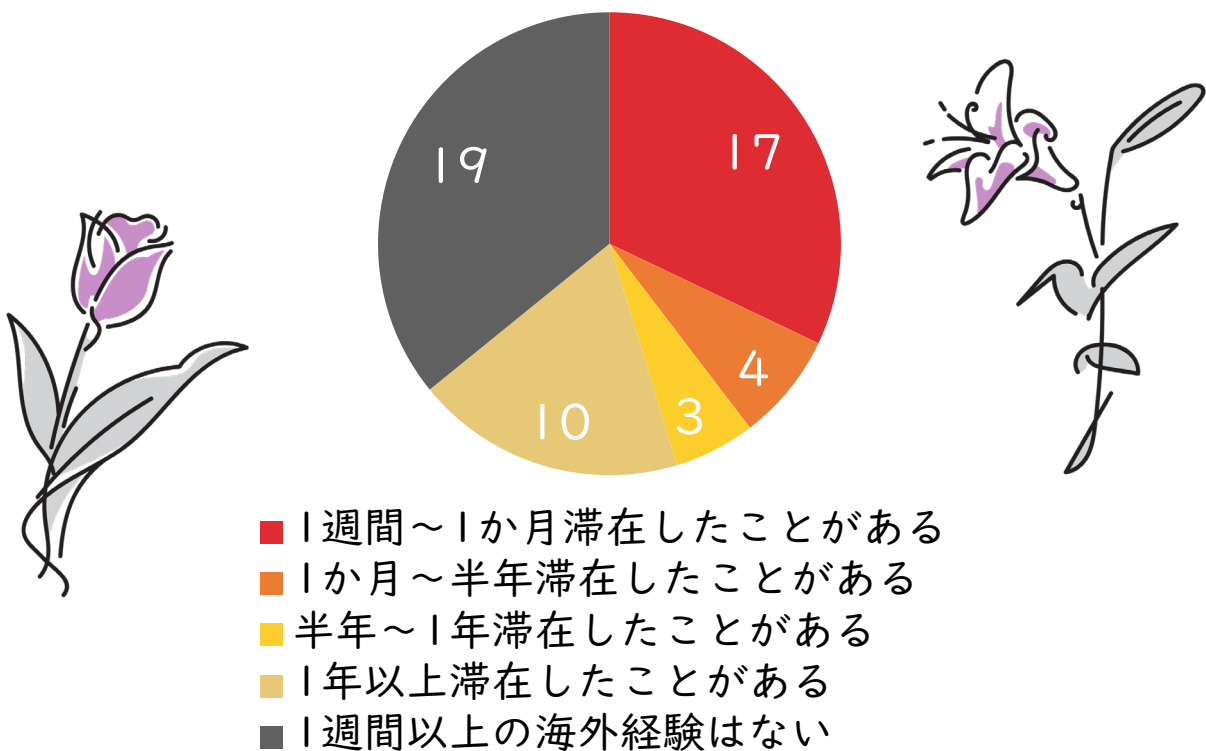
官庁訪問の待合室では、様々な人の専攻の話を聞くのがとても楽しくて、時間がすぐに過ぎてしまいました!

内定者データ

公務員採用対策の塾を利用したか



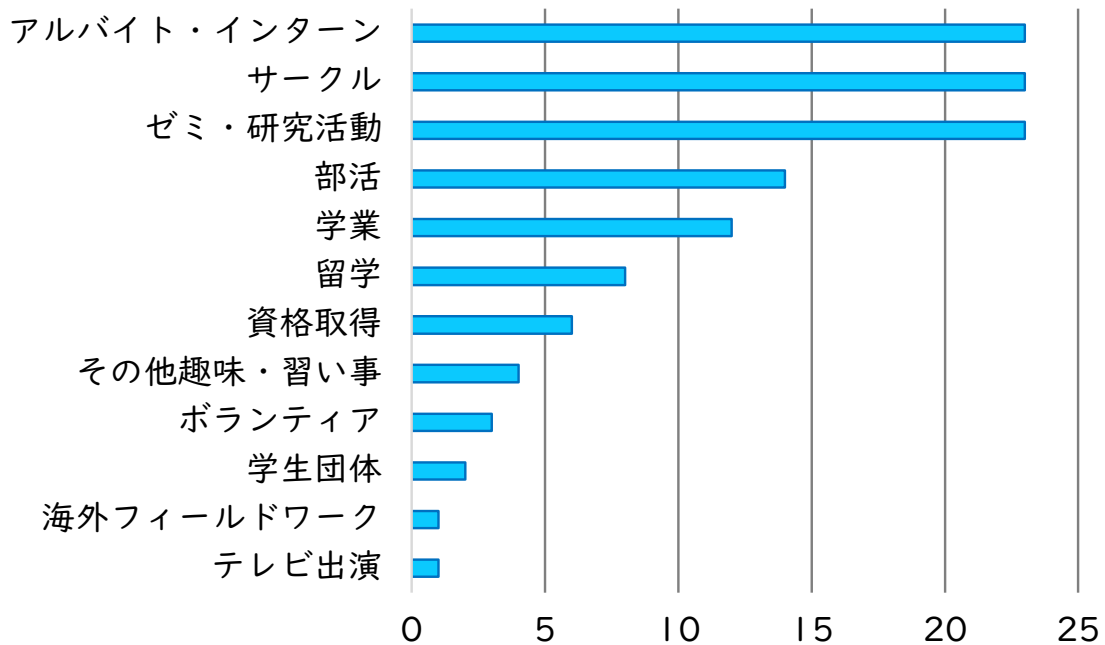
海外経験はあるか



本節、まだまだ続きます！（ガクチカ・志望動機 etc...）

1

ガクチカのジャンル



ワードクラウド：志望動機



志望動機では、「社会・世界への貢献」や「課題解決」、「豊かさ」などのキーワードが目立っていますね。

内定者データ

ワードクラウド：METI の魅力



ワードクラウド：関心政策分野



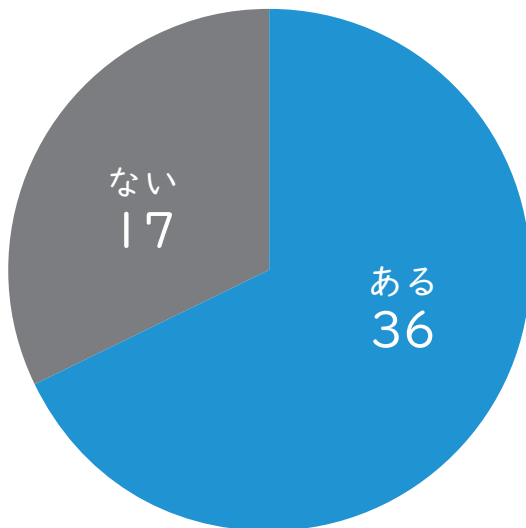
あなたの想いと共感する言葉を見つけ、自分の志望動機などを
練り上げる上でのマイルストーンとして活用して下さい！

内定者データ

個人的な心配ゴト

官庁訪問が近づくと、色々な事を考えすぎて気分が落ち込むこともあるかもしれません。しかし、心配はご無用！ 内定者も、かつては同じような「心配ゴト」を抱えていたのです！

「心配ゴト」があったか



なんと、**約4分の3**の内定者が、「心配ゴトがあった」と回答していました！その具体的な内容は、下にまとめておきました！



悩みの具体例

- ・英語が苦手 ...
- ・経済学の知識が足りない ...
- ・長期留学の経験が無い ...
- ・東大出身ではない ...
- ・対策に時間をかけられていない ...
- ・頭の回転の速さに自信がない ...
- ・積極的なリーダーシップを発揮できない ...
- ・理系学部卒の必要があるかが分からない ...
- ・前年に自分の大学から内定者がいない ...
- ・特別なガクチ力が無い ...

英語力や人生経験などは、他人と比較してしまいがちですね。ですが、比較する意味も必要も全くありません！ 自分の個性を大切に、自信を持って官庁訪問にチャレンジしましょう！

内定者データ

おまけ：集合写真

10月1日に経済産業省で行われた内定式の際に、内定者の集合写真を撮影しました。その写真を内定者全員の同意の上で、公開します！
写真を通して、内定者の雰囲気が伝わったならば本望です！

@ 経済産業省 地下2階



(一部希望者には、モザイク加工を施しています。)

以上、経済産業省内定者 BOOK2025 でした。皆さんの就職活動が、より有意義なものになることを、心から望んでおります。
それでは来年、ここで会えることを楽しみにしています！



©Expo 2025

経済産業省内定者 BOOK2025 編集者一同